

## 第2学年「図工」の学力向上のための方策

### 児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 作った作品に喜びを感じ、楽しく活動に取り組んでいる。
  - 道具の使い方を工夫しながら学習に取り組んでいる。
- 課題**
- ▼ 友達の作品から良さを感じ、自分の制作に生かす機会が少なかった。
  - ▼ 道具の使い方が危うい場面があるので、安全指導に力を入れていきたい。

### 指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 自分の感覚や行為を通して形や色に気づき、楽しんで制作する力。
- ◇ 自分のイメージをしっかりと持ち、自分の活動を展開していく力。
- ◇ 用具の使い方を理解し、活動や表し方を工夫する力。

### 具体的な改善策

#### 主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 児童に親しみのあるモチーフを選び、イメージを膨らませやすくする。
- 児童が新しく発見したこと、できるようになったことにしっかりと共感する。

#### 言語活動の工夫

- 作った作品を自分の言葉で説明させる。
- グループになって他者の作品の魅力を言葉で伝える。

#### ICT活用の工夫

- パワーポイントの一画面に対する情報を最小限にし、作業過程を分かりやすく表示する。
- 実物投影機を使って制作のポイントを使える。

#### 課題解決力育成の工夫

- できなかった原因を一緒に考え、できるようになるヒントを与える。
- 苦戦している児童には、達成できた児童に教え合うように促す。

### 達成目標

- 手や体全体の感覚などを働かせ、材料や用具を使えるようになる。
- 造形的な面白さや楽しさを感じながら、表したいものを表せるようになる。
- 楽しく表現したり鑑賞したりすることができる。